

自治体業務効率化へ向け た生成AI活用促進の取組 実施報告書

つくば公共サービス共創事業
～つくばイノベーションスイッチ～

PwCコンサルティング合同会社
2025年 3月 31日



目次

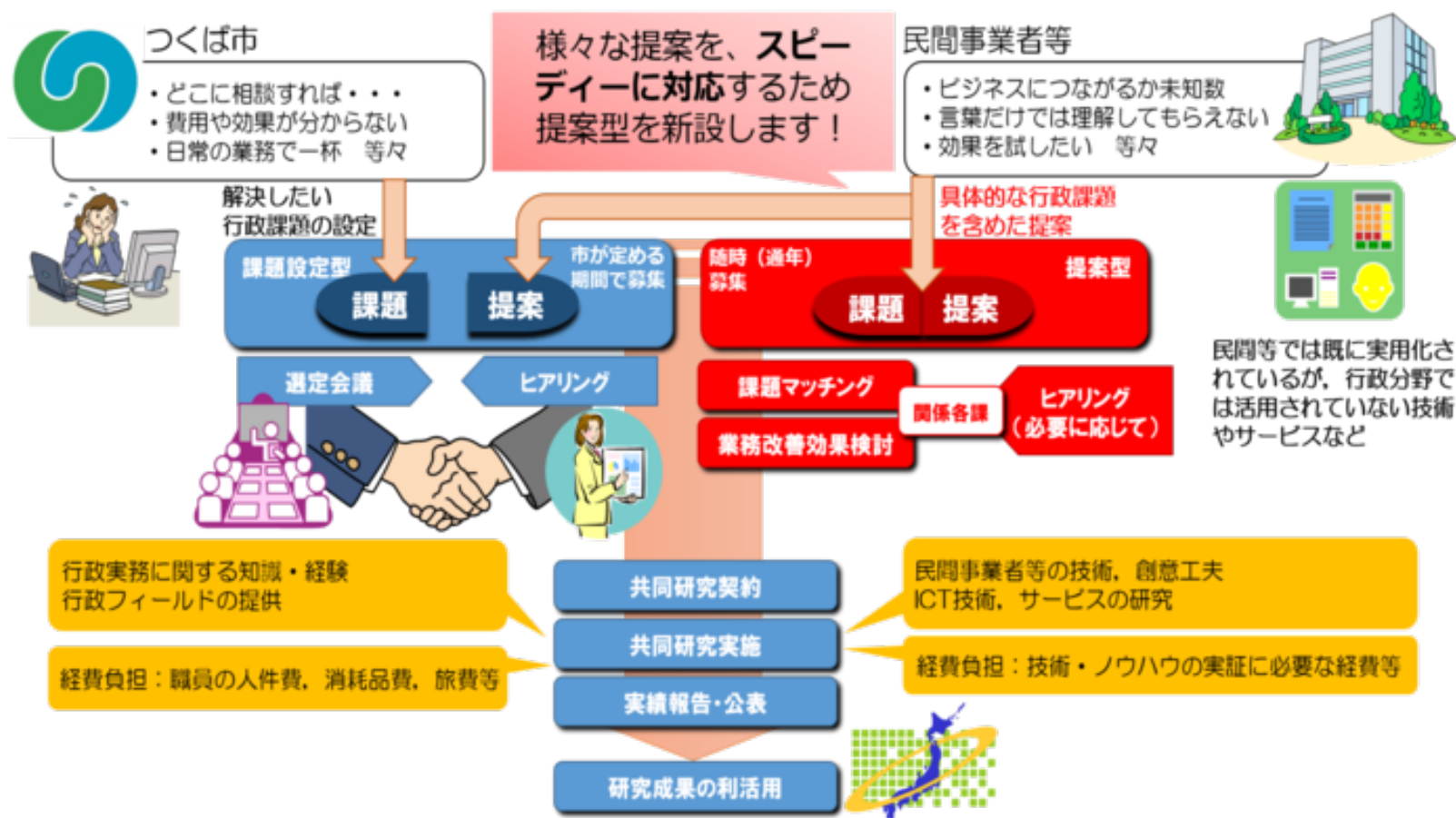
1. 共同研究の概要
 1. つくば公共サービス共創事業とは
 2. 取り組みに至る背景
 3. 研究概要
 4. 本書の位置づけ
2. 生成AI研修について
 1. 生成AI研修概要
 2. アンケート設計
 3. 研修実施アンケート調査結果
 4. 研修実施結果についてのまとめ
3. 生成AI活用ガイドライン作成について
 1. 生成AI活用ガイドライン作成の目的
 2. 生成AI活用ガイドライン作成方針について
4. 生成AIに関する情報提供について
5. 総括

1

共同研究の概要

つくば公共サービス共創事業とは

「つくば公共サービス共創事業は、すでに民間では導入が進んでいる先端ICT技術が、まだ公共サービスの分野では導入が進んでいないことに着目して、それらの技術を業務効率化等に資する製品又はサービスの創出に結びつけるため、民間事業者等との共同研究を実施するものである。



取り組みに至る背景

生成AIについて、職員研修を通して正しく概要やメリット、使用上の注意点を把握した上で、ガイドラインのルールに則って日常業務へ活用することが肝要となる。

産業界の 現状

- 1950年代から始まるAIブームは今や、深層学習の出現を経て第3次を迎えたと言われており、現在強力な画像生成AIや文書生成AIを誰でも気軽に使える状態になっている
- 今後はAI単体のみならず、検索エンジンを始めとした多くのシステムに組み込まれて使用されることで、より多様かつ自然な使われ方が模索されていくことが予想される

国・自治体 の動き

- 業務効率化を目指し、官公庁や自治体でも生成AI(特にチャットGPT)の活用に関する検討が積極的に進められている
- 一方で新しいサービスへのリスク分析が追いついておらず、利用を制限する自治体もある状態
- 国としてもガイドライン策定をする予定だが、それに先立ち各自治体で独自にガイドライン作成に向けた取り組みが動きつつある

本提案の 背景・目的

- 自治体としてサービスを使うにしろ使わないにしろ、生成AIとは何でどのようなリスクがあるのか、どのような活用方法が期待されているかを正しく理解することを目的とした職員研修を行うべきと考える
- また生成AI活用に関するガイドラインを作成することで、自治体としてのスタンスや方針、生成AIを活用する際のルールを職員に展開することが可能と考える

研究概要

本研究では、生成AIとはどのようなもので、どのようなリスクがあるのか、どのような活用方法が期待されているかを正しく職員が理解することを目的とした職員研修を行う。また、自治体としてのスタンスや方針、生成AIを活用する際のルールを職員に展開するため、生成AI活用に関するガイドラインを作成する。

#	実施事項	詳細	実施スケジュール
1	全職員向けの生成AI研修	生成AIに関するリテラシーを高め、正しくリスク認識と有効性を理解したうえで自治体の業務改善につなげることを目的として、つくば市全職員を対象とした研修を実施	2023年8月24日に研修を実施
2	生成AI活用ガイドライン作成	今後のつくば市における生成AI活用方針や、これまでのつくば市での活用状況、条例を加味した生成AI活用ガイドラインの作成	2023年度中にドラフト版を作成 2024年度に国の方針を受けて更新版を作成、リリース
3	生成AIに関する情報提供	民間企業や他自治体での活用状況、国の方針、最新の技術動向に関する情報提供	- 以下日程で行った打合せにて情報提供を実施 ➤ 2023年7月14日 ➤ 2023年9月20日 ➤ 2024年1月31日 ➤ 2024年2月13日

本書の位置づけ

本共同研究実績報告書(以下、「本書」という)では、前述の「全職員向けの生成AI研修」、「生成AI活用ガイドライン作成」および「生成AIに関する情報提供」に関する共同研究の取組結果を報告する。

なお、本書における生成AI研修に関する研究結果は、研修実施当時につくば市が試行導入していたLogoチャット内の生成AIサービス「AI顧問けんじくん」の利用を前提としたものであり、本文中に示された結果については、2024年に本格導入した生成AIサービスでは異なる可能性がある点について、留意すること。

また生成AI活用ガイドラインに関しては、2024年に本格導入した生成AIサービスの活用を前提としている。

2

生成AI研修について

全職員向けのデータリテラシー研修概要

テキスト生成AIについて、概要やメリット、使用上の注意点を理解していただき、日常業務へつくば市の生成AI「AI顧問けんじくん」の活用を検討いただく場として、2023年8月24日に研修を実施。

➤ 研修の目的

生成AIに関するリテラシーを高め、正しくリスク認識と有効性を理解したうえで自治体の業務改善につなげる

➤ 形式

オンライン開催

※リアルタイムで参加できない職員向けに、後日録画を配信

➤ 対象

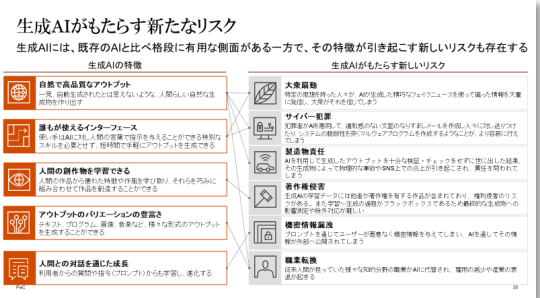
つくば市役所全部署 約2,200人(任意研修)

➤ 研修概要

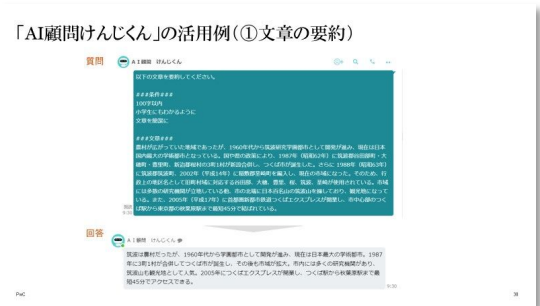
- 生成AIの基本的な理解を深める
- 生成AIの利点と考慮しなくてはならない点を理解する
- 日常業務で生成AIを活用する方法を学ぶ

➤ ポイント

生成AI利用に関する攻め(活用方法)と守り(考慮すべき点)の双方を理解することで、適切な生成AIの活用方法を学ぶ



守り(考慮すべき点)



攻め(活用方法)

アンケート設計 1/3

質問項目が同じアンケートを研修前後の2回実施することで、研修による定性的・定量的な効果を測定。

#	分類	質問項目	区分	回答形式	回答項目
1	回答者属性	ご自身の所属について記載してください	必須	選択式	過去事例踏襲
2	回答者属性	ご自身の役職について選択してください	必須	選択式	過去事例踏襲
3	認知	業務またはプライベートの個人利用で、生成AIに関するサービスを利用したことがありますか	必須	ラジオボタン	• 使ったことがある • 使ったことがない
4	認知	使用したことがある生成AIサービスは何ですか	必須	選択式	• AI顧問けんじくん • ChatGPT • Bing AIチャット • Google Bard • Stable Diffusion • DALL・E 2 • Midjourney • Gen-2 • その他
5	認知	「その他」と答えた方は、どのような生成AIサービスを利用したか記載ください	任意	記述式	—
6	認知	LoGoチャットにある「AI顧問けんじくん」というチャットボット機能を知っていますか	必須	ラジオボタン	• 知っている • 知らない
7	認知	「AI顧問けんじくん」を使ったことがありますか	必須	ラジオボタン	• 使ったことがある • 使ったことがない
8	認知	「AI顧問けんじくん」を使う上での注意点やリスクを理解していますか	必須	ラジオボタン	• 理解している • 多少理解している • あまり理解していない • 理解していない

アンケート設計 2/3

質問項目が同じアンケートを研修前後の2回実施することで、研修による定性的・定量的な効果を測定。

#	分類	質問項目	区分	回答形式	回答項目
9	利用状況	「AI顧問けんじくん」を利用している頻度はどの程度ですか	必須	ラジオボタン	• ほぼ毎日利用している • とくとき利用している • 最初の1回だけ利用した • 利用していない
10	利用状況	「AI顧問けんじくん」を利用して行ったことは何ですか	必須	選択式	• 文章案の作成や要約 • アイデア創出 • 情報検索 • 添削や翻訳 • Excel関数やプログラムの作成 • その他(対話シミュレーションなど) • 利用していない
11	利用状況	「その他」と答えた方は、どのような利用をしたか記載ください	任意	記述式	—
12	利用結果	「AI顧問けんじくん」を利用すると”仕事の効率”が向上すると思いますか	必須	ラジオボタン	• 効率が大幅に向上すると思う • 効率が多少は向上すると思う • 効率は変わらない • 効率が下がると思う
13	利用結果	「AI顧問けんじくん」を利用すると”仕事の品質”が向上すると思いますか	必須	ラジオボタン	• 品質が大幅に向上すると思う • 品質が多少は向上すると思う • 品質は変わらない • 品質が下がると思う
14	利用結果	「AI顧問けんじくん」の回答は、どの程度適切だったと思いますか	必須	ラジオボタン	• 常に適切な回答だった • おおむね適切な回答だった • 半々くらい • おおむね不適切な回答だった • 常に不適切な回答だった • 利用していない

アンケート設計 3/3

質問項目が同じアンケートを研修前後の2回実施することで、研修による定性的・定量的な効果を測定。

#	分類	質問項目	区分	回答形式	回答項目
15	利用結果	「AI顧問けんじくん」を利用することで、作業ストレスの低減など働き方改革に役立ちましたか	必須	ラジオボタン	• はい • いいえ • わからない・利用していない
16	利用結果	「AI顧問けんじくん」を利用することで、従来の方法では得られなかったアイデアや発想を得ることが出来ましたか	必須	ラジオボタン	• はい • いいえ • わからない・利用していない
17	利用結果	「AI顧問けんじくん」を利用することで、職員間のコミュニケーション促進や他の業務により多くの時間を割けるようになりましたか	必須	ラジオボタン	• はい • いいえ • わからない・利用していない
18	利用結果	「AI顧問けんじくん」に対して、要望・改善点があれば教えてください	必須	選択式	• 特にない • 質問文の入力サポートが欲しい • 回答の精度が向上するといい • 会話形式でやり取り可能にして欲しい • 利用方法の説明がもっと欲しい • その他
19	利用結果	「その他」と答えた方は、どのような要望・改善点があるか記載ください	任意	記述式	—
20	利用結果	「AI顧問けんじくん」を今後も活用したいと思いますか	必須	ラジオボタン	• はい • いいえ・わからない
21	利用結果	「AI顧問けんじくん」やその他の生成AIサービスについて、どのような自治体業務で活用できそうと思いますか	任意	記述式	—

研修実施アンケート調査結果 1/2

研修前に第1回、研修後に第2回の生成AI活用に関するアンケートを実施。生成AIの利用者数の増加とリスクへの理解促進が図れたと考える。

➤ 概要

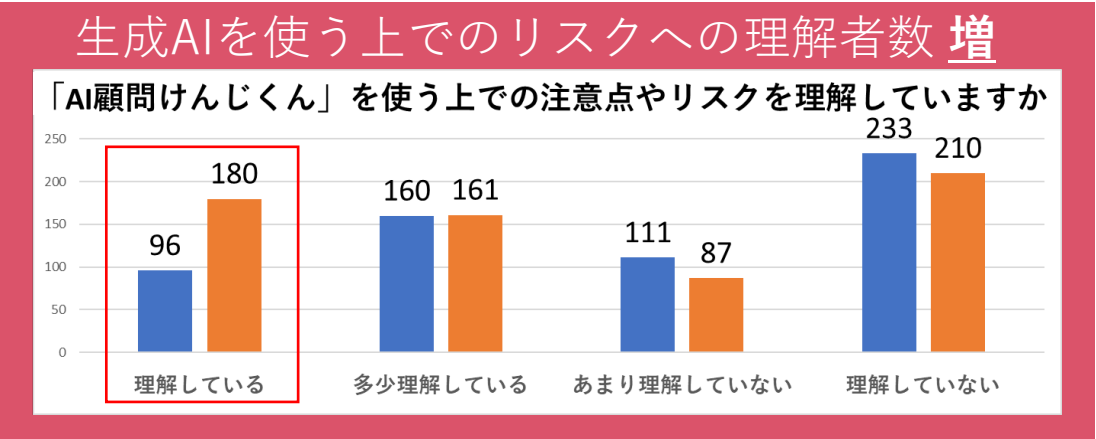
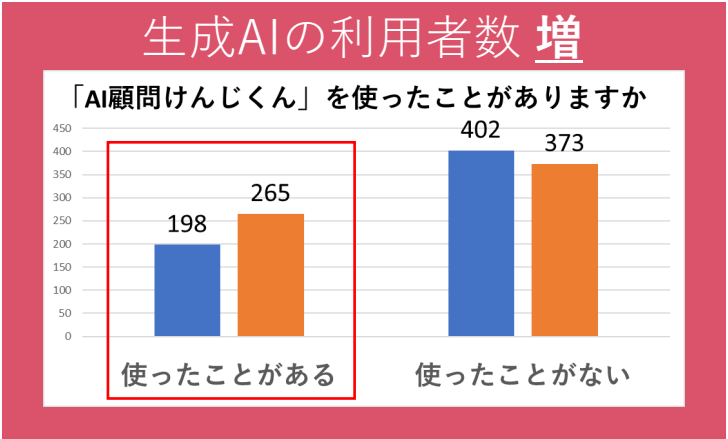
第1回		第2回
対象職員	つくば市役所全部署 約2,200人	
実施期間	2023年7月19日～2023年7月26日	2023年9月8日～ 2023年9月25日
回答者数	600人(回答率約27%)	638人(回答率29%)
質問項目	第1回、第2回ともに同じ質問項目	

➤ 主な結果（第1回と第2回の変化）

凡例

1回目

2回目

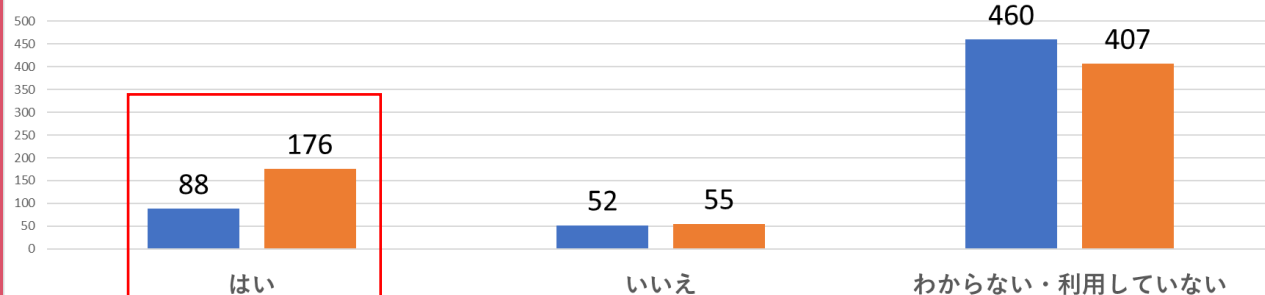


研修実施アンケート調査結果 2/2

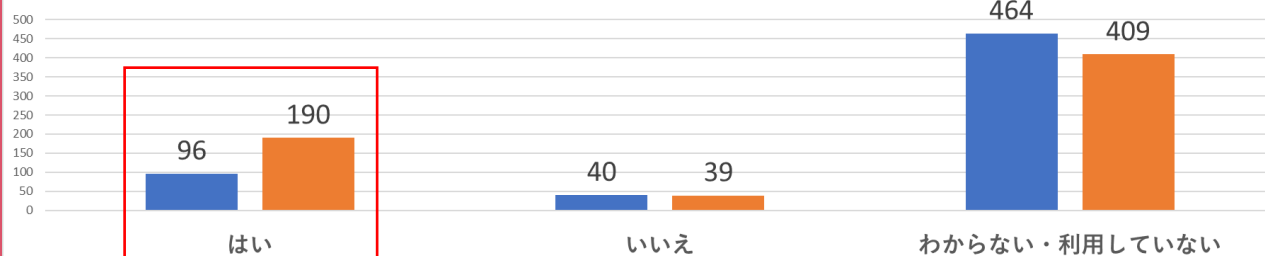
凡例 1回目 2回目

生成AIの効果を実感している人数 増

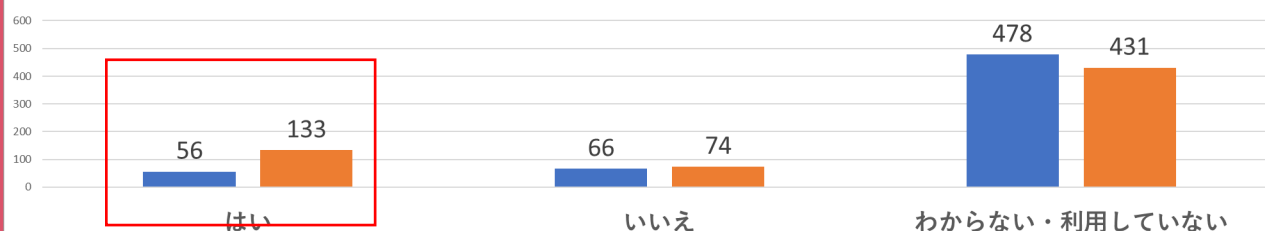
「AI顧問けんじくん」を利用することで、従来の方法では得られなかったアイデアや発想を得ることができましたか



「AI顧問けんじくん」を利用することで、作業ストレスの低減など働き方改革に役立ちましたか

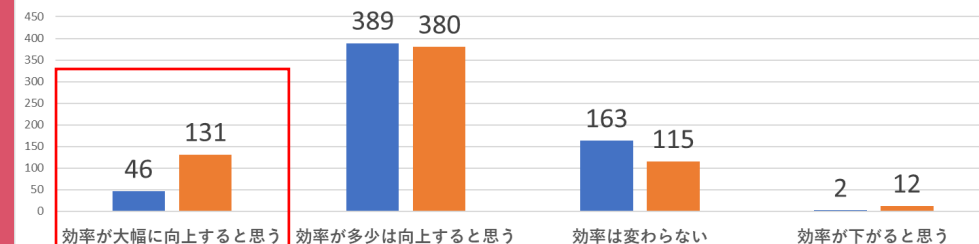


「AI顧問けんじくん」を利用することで、職員間のコミュニケーション促進や他の業務により多くの時間を割けるようになりましたか

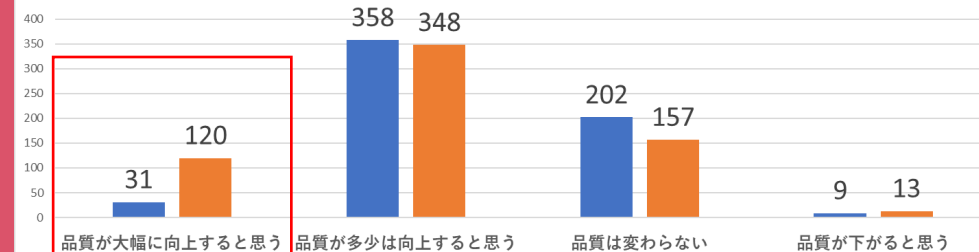


生成AI活用に期待する人数 増

「AI顧問けんじくん」を利用すると"仕事の効率"が向上すると思いますか

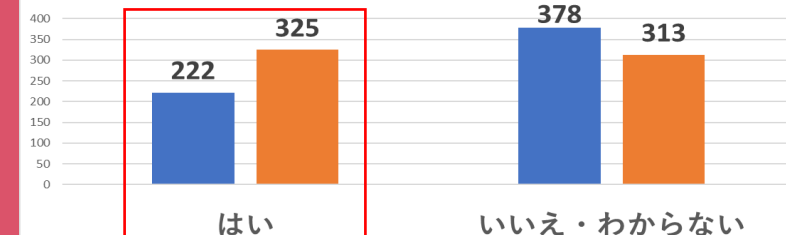


「AI顧問けんじくん」を利用すると、"仕事の品質"が向上すると思いますか



今後も生成AIを使いたいと感じた人数 増

「AI顧問けんじくん」を今後も活用したいと思いますか



研修実施結果についてのまとめ

➤ まとめ

- 第2回では第1回に比べ、利用者数、リスクへの理解者数、生成AIの効果を実感・期待している人数、今後も活用したいと思っている人数など、**ほぼ全ての質問項目においてポジティブな回答が増加した**
- 一方で、使ったことがないという人数も相当数おり、**生成AIを使う人・使わない人で大きく2分する結果となった**
- しかしながら、回答者数から分析すると、**使わないと回答した中にも生成AIに期待する声が存在**することが分かった

➤ 今後に向けて

- **「生成AIを使わない＝生成AIに対するネガティブな印象」とは限らないため、まずは生成AIを知ってもらう、使ってもらうための取り組みが重要**

➤ 対応策(例)

- 生成AIのリスクのみならず、**身近な自治体業務を例にした活用事例やプロンプトの入力方法に関する研修の実施など(生成AIをより近くに感じてもらうための施策)**

3

生成AI活用ガイドライ
ン作成について

生成AI活用ガイドライン作成の目的

以下目的でガイドラインの作成を行った。

➤ ガイドライン作成の目的

- ✓ つくば市職員が業務で生成 AI を利用する際に遵守すべき事項を解説
- ✓ 生成AIは業務効率の改善や新しいアイデア出しなどに役立つ反面、入力データの内容や生成物の利用方法によっては法令に違反したり、他者の権利を侵害したりする可能性がある
- ✓ 生成 AIの利用に当たっては、本ガイドラインを踏まえ、生成 AI を安全かつ効果的に利用するものとする

➤ ガイドラインの構成(案)

1. つくば市における生成AIの利用制限
2. 生成AIへの非公開情報の入力禁止
3. 生成AIを利用・構築する場合に必要な手続き
4. 生成AIを利用する際に注意すべき事項
5. 生成AIの活用(活用例など)

➤ ポイント

- ✓ 機密情報の取扱いをはじめとした注意事項や制限事項のみならず、生成AIを適切かつ効果的に利用するための具体的な活用例が必要
- ✓ 技術的進化のスピードも速いため、技術の進展や政府の動向等も踏まえながら更新が必要

生成AI活用ガイドライン作成方針について

➤ ガイドライン作成方針①

- 他都市ガイドラインなどを参考に、一般の職員が理解しやすく、読みやすい記載内容、デザインで作成

文章生成AIとは？

文章生成AIは、自然言語処理と機械学習の技術を組み合わせて、**コンピュータが人間のように自然な文章を生成するシステム**です。

文章生成AIの特徴



自然で高品質なアウトプット

一見、自動生成されたとは思えないような、人間らしい自然な生成物を作り出す



誰もが使えるインターフェース

使い手はAIに対し人間の言葉で指示を与えることができる特別なスキルを必要とせず、短時間で手軽にアウトプットを生成できる

※ 文章生成AIは、生成した文章の「意味」を人間のように完全に理解しているわけではありません。AIは大量のデータからパターンを学び、文脈に基づいて適切な単語やフレーズを選んで文章を生成しますが、その背後にある深い意味や意図を本当に理解しているわけではありません。

新たに利用・構築する場合に必要な手続き

exaBase 生成AIを利用する場合：

イントラのポータルより利用可能（特段の手続きは不要）

※ID・パスワードについては、R6.8.23付けの情報政策課からの通知を参照

<イントラのポータルにあるログイン用リンク>

LGWAN版生成AI (exaBase)

画像生成AIなどのサービスを利用したい場合：

取り扱う情報資産の重要度によって利用可否が異なるため、情報政策課との協議が必要

生成AI利用環境を構築する場合：

情報システム等導入及び利用協議書のフォーマットに従って情報政策課との協議が必要



情報システム等導入及び利用協議書

分類	分類基準
重要度 1	個人番号利用事務に係る個人番号を含む情報資産
重要度 2	重要度 1 に該当しない情報資産で、次に掲げる事項に該当する情報資産 ア 当該情報資産に係る個別の法令等により守秘義務又は情報漏えい等に対する安全管理措置等（以下「守秘義務規定等」という。）が課されている情報資産 イ 個人情報保護法第 2 条第 3 項に規定する要配慮個人情報を含む情報資産 ウ 情報責任者の判断により重要度 2 として取り扱うべきとされた情報資産
重要度 3	重要度 1 及び重要度 2 の情報資産に該当しない個人情報並びに次に掲げる事項に該当する情報資産 ア 当該行政情報を扱う課等以外に知られることが不適当なもの イ 公開することを前提としないもの ウ 漏えいした場合、行政に対する信頼を著しく害する恐れのあるもの エ 機密性・完全性・可用性が侵害されることにより、行政事務の安定的な遂行に支障を及ぼすおそれがあるもの
重要度 4	重要度 1、重要度 2 及び重要度 3 に該当しない情報資産

重要度による情報資産の分類（つば市情報セキュリティポリシーより抜粋）

生成AI活用ガイドライン作成方針について

➤ ガイドライン作成方針②

- ・ 利用者の心理的負担にならないように、利用にあたってのルール・注意点は簡潔に記載

文章生成AIの利用ルール・注意点

01 入力の制限

個人情報などの機密性の高い情報は入力してはいけません。

【入力禁止】 つくば市情報公開条例第5条各号に定める「不開示情報」

つくば市情報セキュリティポリシーの重要度1（特定個人情報）、需要度2、個人情報を含む重要度3

02 生成した回答の確認

生成 AI の回答には、虚偽や偏りのある意見等を含む可能性があるため、回答の根拠や裏付けを必ず確認してください。生成AIの回答の利用に当たっては、利用者に製造物責任があります。

03 著作権の侵害

生成 AI の回答が、既存の著作物と同一・類似している場合は、当該回答を利用する行為が著作権侵害に該当する可能性があります。特定の作家や作品等を模倣することを指示して生成しないでください。回答が既存著作物と同一・類似している疑いがある場合は、インターネットで検索するなどして、既存著作物と同一・類似していないか、確認してください。

03 著作権の侵害

特定の作家や作品等を模倣することを指示した生成の例

夏目漱石の小説、吾輩は猫であるの冒頭部分を△△（作品名）の文体を模写して書き換えてください

以下の文章を小学生でもわかるように○○風（作家名）の文章に書き換えてください

◇◇（ブランド名）の広告風のスローガンを10個考えてください

⚠ 問題が発生した場合の報告先

生成AIの利用において、著作権の侵害等のトラブルが発生した際は、直ちに所属長へ報告を行い、速やかに情報政策課にご連絡ください。

生成AI活用ガイドライン作成方針について

- ガイドライン作成方針③
 - 生成AIサービスの使い方やプロンプト例を具体的に記載することで、利用者が生成AIを使い始める際の参考資料として有用な情報を整理

「exaBase 生成AI」の使い方（1/3）

手順：

- ① イントラのポータルよりexaBase 生成AIを起動し、ログイン情報を入力
- ② 左上のAIアシスタントをクリックし、利用するモデルを選択
- ③ 画面下の箱にテキストを記載し送信することで、AIとの会話を開始することができます
- ④ また「テンプレートから選ぶ」をクリックし、テンプレートを選択すると、入力テキストのテンプレートが表示されます
- ⑤ 画面右上の？マークをクリックし、「利用ガイド」を選択すると、マニュアルが表示されます

ログイン

①

exaBase 生成AI

②

テンプレート

⑤

ログイン画面

exaBase 生成AI画面

テンプレート選択画面

生成AIの活用例（メール文の作成①）

事務処理

プロンプト例

庁舎内へ送る文書廃棄の告知メールについてメールを作成してください。

実行結果

件名: 庁舎内文書廃棄のお知らせ

拝啓 [部署/御名前] 殿、

平素よりご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、庁舎内での文書の整理および廃棄作業を実施する運びとなりました。弊部署では、情報管理の最適化とセキュリティの向上を目指して、定期的な文書整理を実施しております。その一環として、古い書類や不要な文書の廃棄を行います。

以下の日程において、廃棄作業を実施いたしますので、ご協力をお願い申し上げます。

廃棄作業日程:

- 日付: [日付を入力]
- 時間: [時間を入力]
- 場所: [場所を入力]

廃棄される文書につきましては、機密性の低いものや保存期間を過ぎたものが含まれます。重要な文書については、事前にスキャンまたは保存を行った上で廃棄いたしますので、何卒ご安心ください。

文書廃棄に関するご不明点やご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具、

[貴殿の名前または担当部署名]

[貴殿の連絡先情報]

深掘りプロンプト例

(プロンプト例のチャットの続き)

送り主: つくば市役所総務課

日時: 2/22 15時

場所: 5階ホール

丁寧かつ親しみを感じるトーンに修正してください。

実行結果

件名: [重要]文書整理のお知らせ - 2/22 15時、5階ホールで実施

拝啓 つくば市役所の皆様、

つくば市役所総務課です。いつもお世話になっております。

お忙しい中恐れ入りますが、大切なお知らせがございます。この度、庁舎内での文書整理を行いますことをご案内申し上げます。

日時: 2月22日（木曜日）15時

場所: 5階ホール

私たちの目的は、より効率的な情報管理とセキュリティの向上です。古い書類や不要な文書を整理し、よりスムーズな業務運営を目指しています。

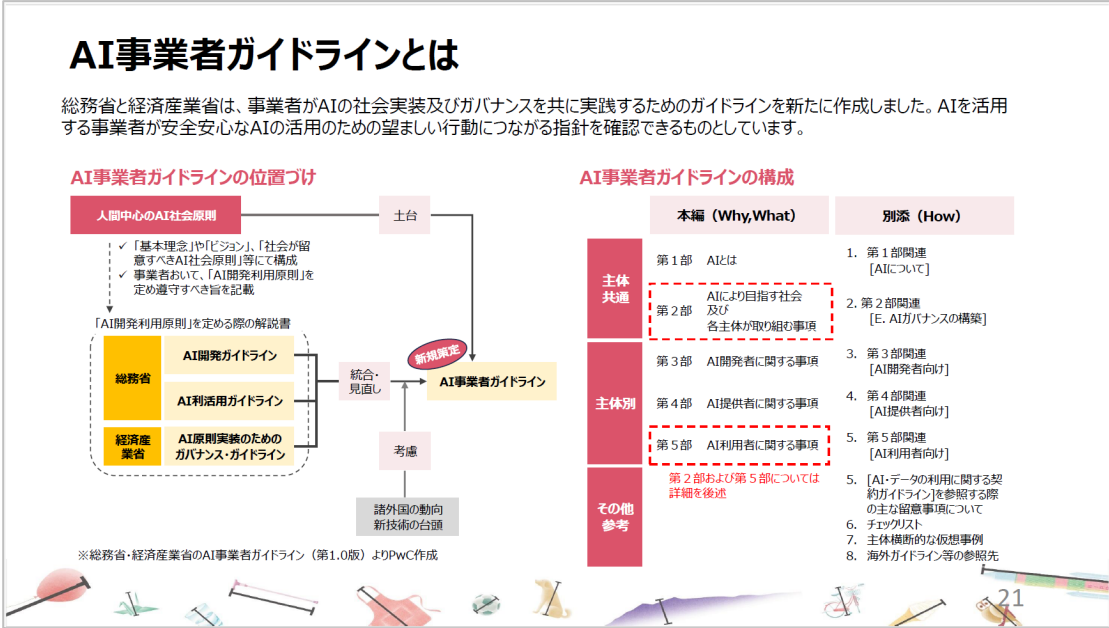
大切なお知らせですが、ご不便をおかけすることなく、皆様のご協力をいただければ幸いです。文書整理に関して何かご質問やご提案がございましたら、いつでもお気軽にお知らせください。

皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。何卒、よろしくお願いたします。

つくば市役所総務課一同

生成AI活用ガイドライン作成方針について

- ガイドライン作成方針④
 - 総務省と経済産業省が定めるAI事業者ガイドラインの概要を示すことで、国としての生成AI活用方針も参考資料として記載



AIにより目指す社会及び各主体が取り組む事項

「共通の指針」の事項にもとづく対応に追加して、各主体ごとに重要となる事項が整理されています。

AIにより目指す社会（基本理念）

人間の尊厳が尊重される社会

- 人間がAIを道具として使いこなすことによって、人間の様々な能力をさらに発揮する
- 物質的にも精神的にも豊かな生活を送ることができるような、人間の尊厳が尊重される社会を構築する

共通理念

多様な背景を持つ人々が多様な幸せを追求できる社会

- 多様な背景、価値観を持つ人々が多様な幸せを追求し、それらを柔軟に包摂した上で新たな価値を創造できる社会
- AIの適正な開発と展開によって、このように社会の在り方を変革していく

持続可能な社会

- AI活用によりビジネスやソリューションを生み、社会の格差を解消、環境問題や気候変動等にも対応が可能な持続性のある社会を構築する方向へ展開させる
- 科学的・技術的蓄積をAIによって強化し、そのような社会を作ることにつながる

共通指針とAI利用者に重要となる事項

	共通の指針	AI利用者に重要となる事項
人間中心	①人間の尊厳及び個人の自律、②AIによる意思決定・感情の操作等への留意、③情報等への対策、④多様性・包摂性の確保、⑤利用者支援、⑥持続可能性の確保	-
安全性	①人間の生命・身体・財産、精神及び環境への配慮、②適正利用、③適正学習	①安全を考慮した適正利用
公平性	①AIモデルの各構成技術に含まれるバイアスへの配慮、②人間の判断の介入	①入力データ又はプロンプトに含まれるバイアスへの配慮
プライバシー保護	①AIシステム・サービス全般におけるプライバシーの保護	①個人情報等の不適切入力及びプライバシー侵害への
セキュリティ確保	①AIシステム・サービスに影響するセキュリティ対策、②最新動向への留意	①セキュリティ対策の実施
透明性	①検証可能性の確保、②関連するステークホルダーへの情報提供、③合理的かつ誠実な対応、④関連するステークホルダーへの説明可能性・解釈可能性の向上	①関連するステークホルダーへの情報提供
アカウンタビリティ	①トレーサビリティの向上、②「共通の指針」の対応状況の説明、③責任者の明示、④関係者間の責任の分配、⑤ステークホルダーへの具体的な対応、⑥文書化	①関連するステークホルダーへの説明、②提供された文書の活用及び規約の遵守
教育・リテラシー	①AIリテラシーの確保、②教育・リスキリング、③ステークホルダーへのフォローアップ	-
公正競争確保	AIをめぐる公正な競争環境の維持	-
イノベーション	①オープンイノベーション等の推進、②相互接続性・相互運用性への留意、③適切な情報提供	-

※総務省・経済産業省のAI事業者ガイドライン（第1.0版）よりPwC作成

4

生成AIに関する情報提
供について

生成AIに関する情報提供について

本研究の推進・検討をするにあたり、デスクトップリサーチによる他自治体の最新事例の他、弊社が生成AI活用について意見交換を行った自治体に関する情報提供を行った。

◆PwCが意見交換を行った自治体一覧

- ・ 大阪市
- ・ 京都市
- ・ 熊本市
- ・ 神戸市
- ・ 堺市
- ・ 千葉市
- ・ 東京都港区
- ・ 新潟市
- ・ 広島市
- ・ 横浜市

5

総括

総括

➤ 共同研究者の総括

- 生成AI研修で「生成AIを上手く使いこなせていない」、「生成AIへ興味はあるが使い方が分からない」という職員に対し、基礎的な活用方法を伝えることで、生成AIの効果を実感・期待している職員の増加に繋がった
- 一方で、使ったことがないという人数も相当数おり、生成AIを使う人・使わない人で大きく2分している状態が伺える

➤ 今後に向けて

- 一部の職員のみが生成AIを活用している状態のため、つくば市職員が実際に生成AIによる業務改善の成功事例を創出し、周囲の職員に事例や活用のコツ、有用性を伝達していく流れを作る必要がある
- またe-Learningの他にも、未利用者へのハンズオン支援など、活用推進に向けた丁寧なサポートを継続することが必要と考える

Thank you

pwc.com

© 2025 PwC Consulting LLC. PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.
This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.